

| 番号 | 訂正箇所 | | 原 文 | 訂 正文 |
|----|------|-------------|--|---|
| | ページ | 行 | | |
| 1 | 56 | 3 | <p>2 ベクトルの垂直</p> <p>ベクトルの垂直を，空間においても平面の場合と同様に定義する。 $\vec{a} = (a_1, a_2, a_3), \vec{b} = (b_1, b_2, b_3)$ とすると，$\vec{a} \neq \vec{0}, \vec{b} \neq \vec{0}$ のとき， <u>次のことが成り立つ。</u></p> | <p>2 ベクトルの垂直</p> <p>ベクトルの垂直を，空間においても平面の場合と同様に定義する。 $\vec{a} \neq \vec{0}, \vec{b} \neq \vec{0}$ で，$\vec{a} = (a_1, a_2, a_3), \vec{b} = (b_1, b_2, b_3)$ のとき， <u>次のことが成り立つ。</u></p> |
| 2 | 98 | 5 - 6 | <p>2 $z_1 = 3 - 3i, z_2 = \sqrt{3} + i$ のとき，次の複素数の ◀ p.81 例 6 <u>絶対値と偏角 θ を求め，極形式で表せ。</u>ただし，偏角 θ の範囲は $0 \leq \theta < 2\pi$ とする。</p> <p>(1) $z_1 z_2$ (2) $\frac{z_1}{z_2}$ (3) $\frac{1}{z_2}$</p> | <p>2 $z_1 = 3 - 3i, z_2 = \sqrt{3} + i$ のとき，次の複素数を極形式で ◀ p.81 例 6 表せ。ただし，偏角 θ の範囲は $0 \leq \theta < 2\pi$ とする。</p> <p>(1) $z_1 z_2$ (2) $\frac{z_1}{z_2}$ (3) $\frac{1}{z_2}$</p> |